

【給食指導】自分に必要な量を考えて食べよう 【食に関する指導】運動と食事について理解しよう

【指導内容】(給食指導)適切な給食量の調整 中学校給食の栄養、食品 (食に関する指導)スポーツ栄養 熱中症予防 適切な水分補給 補食について

【身につけさせたい資質・能力】

(給食指導)・中学校給食の栄養や食品量を知り、成長期には多くの栄養をとる必要があることが分かる。・自分の成長や生活に必要な栄養を考えて、給食の量の調整ができる。(食に関する指導)・運動と栄養の関係について理解し、バランスの良い食事や十分な休養をとることができる。・水分補給の大切さを理解し、熱中症予防のために意識して摂取することができる。



Table with columns: 日曜日, 献立名, 牛乳, 主に体の組織をつくる (1群, 2群), 主に体の調子を整える (3群, 4群), 主にエネルギーになる (5群, 6群), エネルギー (kcal), たばく質 (g). Rows include meals like ミルクねじりパン, キムチごはん, 白ごはん, etc.

※地場産物 (小郡市三井郡とれる食材) を太字で示しています。給食で使用する予定です。

(献立担当校: 三国中学校、小郡市立学校給食センター)

※入荷の都合により献立および材料の一部を変更することがあります。
★19日は食育の日。(家庭や学校で食べ物や食について考える日です。)



お月見

お月見は、「中秋の名月(十五夜・旧暦の8月15日)」と「後の名月(十三夜・旧暦の9月13日)」に行われますが、十五夜は別名、何と呼ばれるでしょう?

①芋名月 ②豆名月 ③草名物
正解は・・・①の芋名月です。江戸時代の後期頃より前は、十五夜には芋を、十三夜には豆を供えていたことから、十五夜を「芋名月」、十三夜を「豆名月」ともいいます。お月見献立では芋名月にちなんでさつま芋を使ったかりんとうがらめを提供します。

鹿児島県の郷土料理「きびなごフライ・さつま汁」

今月の食育の日献立は鹿児島県の郷土料理「きびなごフライ・さつま汁」です。鹿児島県は、鹿児島湾、東シナ海、太平洋など広い漁場にめぐまれているため、海の幸が豊富です。中でもきびなごは鹿児島県の郷土料理に欠かせません。鹿児島県では、新鮮な状態で手に入るため、お刺身にして酢みそで食べられます。さつま汁は、鶏肉と野菜が入った具だくさんのみそ汁のことです。鹿児島県では、昔から各家庭で鶏が飼われており、お客さんが来た時や、お祝いの時に、よく食べられていたそうです。

